

## 「学びの共同体」の学校

佐藤学『新版 学校を改革する』(岩波ブックレット・5月9日発行)を読みました。本書が提起している

「学びの共同体」は、国内の実践校約3000校に広がり、海外で

「学びの共同体」は、4人グループで

も今や、世界で最も先進的で大規模な学校改革として評価されていると言います。

小学校低学年ではコの字型の教室配置、小学校3年生以上は男女混合4人グループの教室配置で、協同的学びの授業が進められています。

岩波ブックレット No.1078

### 新版 学校を改革する

学びの共同体の構想と実践

佐藤学

学校は内側からしか改革することはできない

「教室の静かな革命」を描き出す必携書



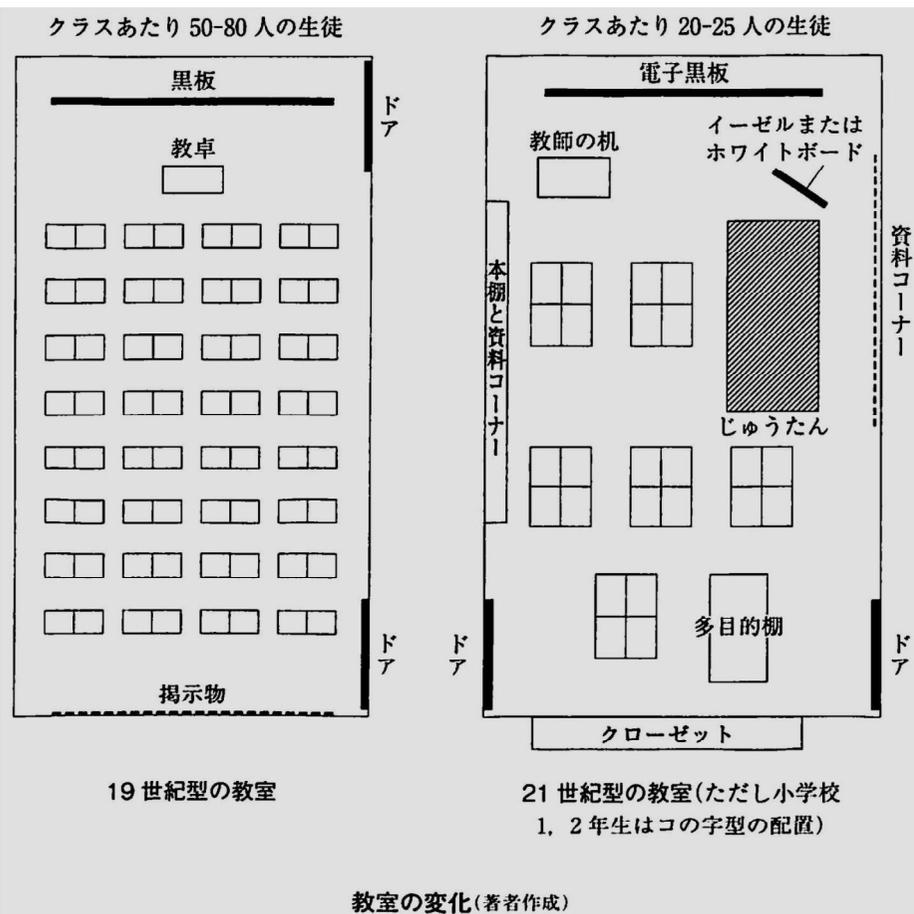
定価(本体630円+税)



協同的学びの風景(日本)

小グループの協同的学びが、学力の低い子どもの学力を回復し、より高い学力を保障していると言います。子ども同士の学び合いが、一人残らず子どもの学びの権利を実現し、教師にとっても成長を保障していると言います。

教育先進国のフィンランドやオランダでも、生徒同士が学びあうグループワークの授業が主流です。



## 村の四季

50

鈴木重雄(八色木)

土洗い、ヒケシ  
11月に入ると、セイタカアワダチソウが土手や荒れ地に群生して、黄色の花を咲かせる。こんなにはたくさん目につくようになったのは、まだ何年も経っていない。堤防や休耕田に大群落を作る。北アメリカ原産の多年草で、日本に渡来したのは明治以降だと言われている。今ではすっかり日本の秋の風景になってしまった。

春以来の外仕事も一段落すれば、「土洗い」の慰労会である。若者たちは村の集会所に集まり、大宴会を行う。家で飼育している鶏や、

うどんなどを持ち寄って、肉餅や肉うどんなど好きなものを料理し、飲む人、歌う人で賑わった。年によっては庄内の温泉一泊もあり、一年で一番楽しい行事である。

土洗い、田の神上げ(11月23日)の行事も終わると、脱穀調整の仕事に入る。「ヒケシ」と言う。どういう文字を書くかわからないが、「日返し」ではないだろうか。稲の脱穀→選別→糶摺り→調整→俵詰め、一連の作業を一日ごとに行うので「ヒケシ」と言ったと思う。(つづく)

県内でも、山形市立出羽小学校や、上市市立中川小学校、同・宮川中学校、大江町立大江中学校、金山町立金山中学校、新庄市立八

向中学校、同・日新中学校、同・新庄中学校、酒田市立浜田小学校、遊佐町立遊佐中学校などで実践されています。

# J A 庄内たがわ

## 新組合長に海藤喜久男氏

庄内たがわ農協（太田政士組合長）の第28回通常総代会が6月21日（水）、いろいろ火の里なの花ホール（三川町）で開かれました。

任期満了に伴う役員改選で、理事24人、監事6人の表決が行われ、役員推薦会議が推薦した全員を選任しました。



鶴岡市大西町）を常務理事に再任。

監事会で、押切光久氏（64・庄内町廻館）を代表監事に、佐藤敏勝氏（60・東堀越）を常勤監事に新任しました。

総代会後に、菊地孝一理事（三川町成田新

田）が辞表を提出しています。

菊地氏は、総代会前の理事互選会（6/3）で、海藤氏を押さえて組合長に当選していましたが、諸事情で退任し、欠員となっていました。

常勤理事は4人から3人体制となり、営農経済担当常務理事を廃止し、専務理事が営農経済を兼務します。

## 東田川史跡物語 東田川史跡と私ー組合運動で出入り

青山 崇

先号に書いたように、

1960年安保闘争を経て、組合運動にも革新的の風が吹いた。

藤島町にも町職労を中心に、全通（現郵政労、県教組、高教組、農村労組（出稼労働者）、農協労、ハイヤー労組、藤島支部などで町内連

絡会をつくり、安保条約廃棄・日韓基本条約

反対の政治スローガンをも掲げ、町内をデモ行進した。

デモ隊は、駅前から下町まで続いたこともあると言われた。

当時庄内農高も汽車通の学生が多く、朝、



昭和38年頃の議会風景

町民の意志決定機関  
議会と

旧郡会議事堂での昭和38年頃の藤島町議会（藤島町町村合併30周年記念誌から）

駅に列車が着くと、同高南門まで道路一杯になって連なったことから推定すると、デモ隊は1000名前後になつていたのであろう。

このような活動を組織するため、各組織の役員は役場に集まった。旧郡会議事堂1階北側には、建屋した3坪ほどの組合事務所があった。

組合事務の種耕院住職・高橋昭山さんがいつもいた。身体はそう大きくなく、愛想がよいので、事務所に行く



### 差進のない国会

2月に始まった国会がこの21日に終わった。終盤には首相は、選挙をする元気も条件もないのに、解散権をもたあそんでいたがこの国会、日本が良くなる事を何あったか？

▲Gセブン議長国だと浮かれて数か国回ったが、成果の見えない行事だったじゃない？会場が広島だったから、せめて核の使用が遠のいたかと期待したが、核の笠という脅しだけが残り、世界が失望。

▲43兆円の防衛費と称する敵基地攻撃の財源法は、どっから出す当てもなく法律は通った。同じように、異次元と付けた少子化対策は、やる・やると言いながら予算は先送りだ。

▲ひどいのは、LGB T法では、理解を増進するのでなく、差別を増進する法律になった

たび、"しょうざんさん、しょうざんさん"と気安く話しかけたりした。

その頃活動した町織労の小田利吉さん・日向貞さん、ハイヤー労組の山口一郎さん、鶴見圭介さんから、鬼籍の人になつたが思い出も多い。

役場職員・斎藤晴男さんの仲人をやり、町内にまだ広い会場がなかったのが、披露宴を旧郡会議事堂2階で開いたことの記憶も強く残る。

というし、世界から注目されていた難民救済では、難民申請の3回目で追い返すことが出来る法律になったと。

▲加えて、福島は今どうなっている？復興した・復興したと聞かえてくるが、故郷に人が帰ってきて、元のようにはあるの？爆発した発電所は、あれから12年も経つのに、どっから手を付けられないのかさえ分からない状態だろ。それが原発なのに、そうなのに・だ。原発を振興するってサ。

▲来年秋には、紙の保険証を無くする法律に賛成した議員は、今何を思っているのだろうか。毎日マイナー保険証の不具合で事件になっているんだが。医者に行つて、急に10割の金出させて言われたらどうする？どうする事もできないな。7割以上が反対でも首相には聞こえない。(石川)